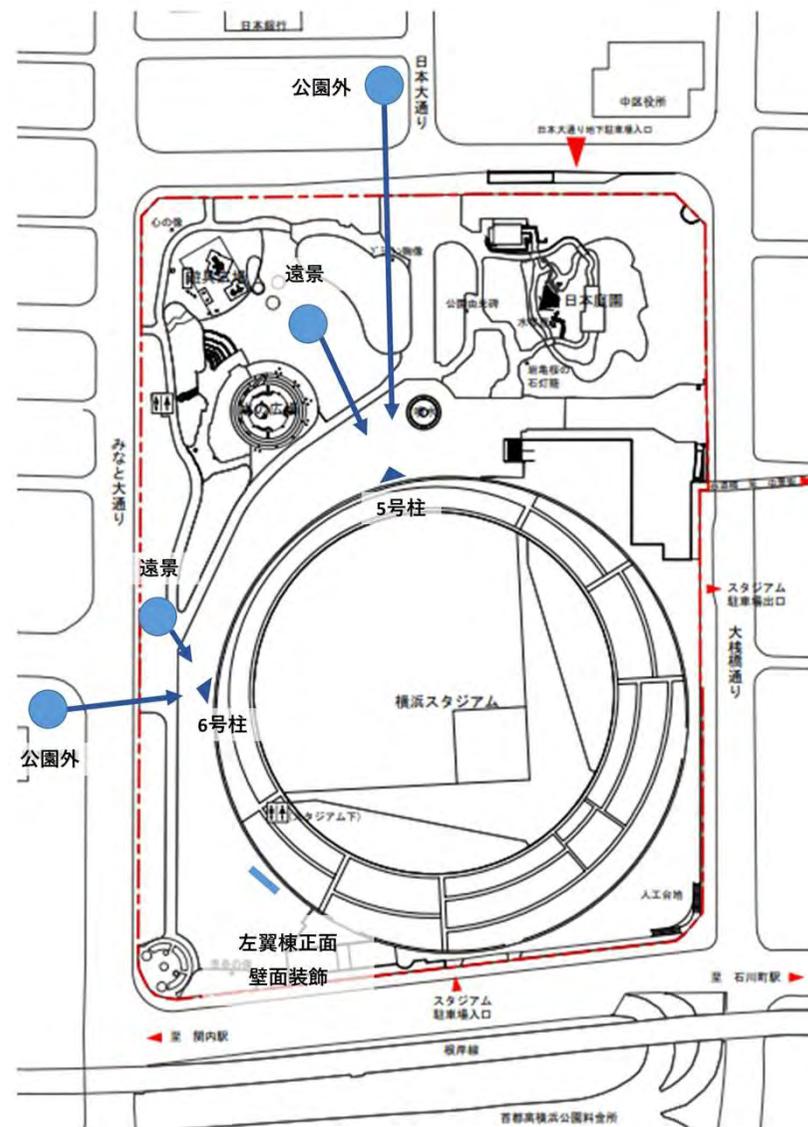
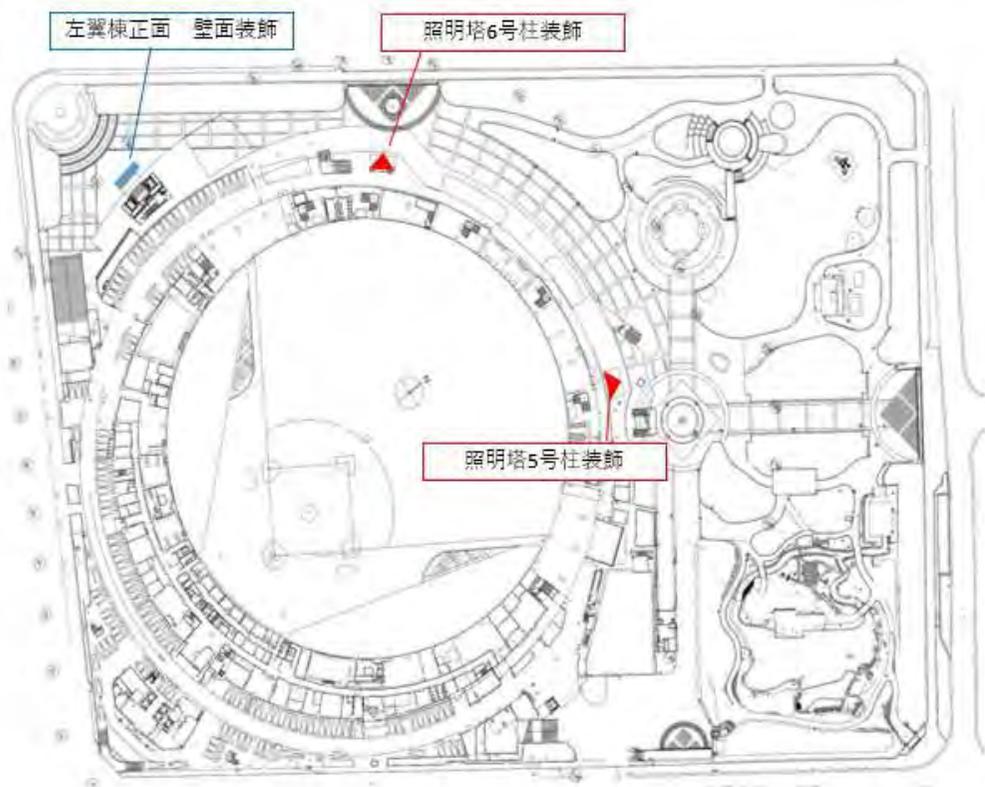


2021年 横浜公園装飾

株式会社横浜DeNAベイスターズ



装飾配置図及び遠景/公園外からのシミュレーション



照明塔装飾（クリエイティブイメージ）

撮影前のため、デザインはイメージとなります
選手は変更になる場合があります



照明塔装飾イメージ（5号柱 遠景）

日本大通り側からの遠景イメージ



現状



シミュレーション

照明塔装飾シミュレーション（5号柱 公園外より）

公園外からの撮影
(掲出位置を赤枠で記載)



公園外からは樹木等により、
照明塔の装飾は視認できない



照明塔装飾イメージ（6号柱 遠景）

スタジアムショップ前からの遠景イメージ



現状



シミュレーション

照明塔装飾イメージ（6号柱 公園外より）

現状



シミュレーション



左翼棟エントランス



撮影前のため、デザインはイメージとなります
撮影後に本番デザインにて申請いたします

2020年度の装飾と同様、左翼塔のエントランスにシート貼りでの装飾を設置予定です。
主に選手ビジュアルで構成されます。

左翼棟エントランス

掲出イメージ



事業者提案に対する市の考え方

今回の提案は、昨シーズンの左翼棟エントランス（JR 関内駅側）に加え、照明塔（尾上町側と日本大通り側）に屋外広告物を掲出しようとするものです。市の考え方等を以下に示します。

1. 横浜公園における景観形成の考え方と野球興業に関連する物件の設置について

横浜公園は、関内地区都市景観協議地区において、地区別の指針がありませんが、景観協議にあたり、横浜公園の景観形成については、以下のように考えています。

- ・歴史ある横浜公園と調和した、品格ある景観を形成する。
- ・遊具広場、日本庭園、散策路など、市民の憩いの場に相応しい落ち着いた空間を保全する。
- ・公園施設を利用した催事の装飾等においても、華やかな演出を避ける。

特に、野球興業に関連する物件の設置については、慎重に景観協議を行い、シンプルなデザインで大きさを最小限とすることや、日本大通りの見通し景観を阻害しない位置や横浜スタジアムが背景となる位置に設置することなどを求めています。

2. 事業者提案に対する市の考え方

JR 関内駅側のエントランスは、昨年に続き掲出するもので、横浜公園の品格や落ち着きある公園環境を阻害しない位置で、デザインについても、構造物の梁柱をほぼ隠すことのない規模で、白を基調としたシンプルなデザインであると考えます。

昨年、掲出を取止めていた照明塔への掲出については、来場者を迎え入れる演出の一つとして、尾上町通り及び日本大通り側の2か所に改めて掲出されることとなりますが、設置位置については、来場者を迎え入れる主な公園入口に設けられ、背景のスタジアム全体面に入る一部となっています。掲出物の色合いもスタジアムの壁面色に合わせており、公園空間との調和を図っていると考えます。

なお、設置高さについて、6号柱（尾上町通り側）は、周辺道路上から見ると広告物の上端がスタジアムの外壁の上端を超えていますが、超える部分は僅かであり、一部が緑で覆われていることを踏まえ、景観を阻害しないものと考えます。5号柱（日本大通り側）については、周辺の道路上から見ると緑で覆われており、日本大通りからの景観も阻害していないと考えます。デザインについても青を基調としたシンプルなデザインであると考えます。

3. 今後の対応について

今回の提案内容以外で掲出される場合には、景観上支障がなく、横浜スタジアムを適切に演出していることを確認した上で、掲出の許可等、必要な手続きを行うものとしします。